

科目名 Course Name	介護の基本Ⅲ Fundamentals of care Ⅲ				ナンバリング No.	J2-005	
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	片桐 幸司						
連絡方法	C-Learning で対応。						
必修／選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と 到達目標	介護を必要とする人の生活の多様性や社会とのかかわりを理解する内容とする。介護を必要とする人の生活を支援するという観点から介護サービスや地域連携など、フォーマル、インフォーマルな支援を理解する内容とする。多職種協働による介護を実践するために、保健・医療・福祉に関する他の職種の専門性や役割と機能を理解する内容とする。 ①高齢者および障害のある人の生活の実際とその生活環境を説明できるようにする。 ②高齢者および障害者に提供される介護サービスの具体的な内容を説明できるようにする。 ③介護福祉士として、介護を必要とする人の理解とそれに必要な介護を説明できるようにする。 ④自分らしさを通じて他者の「その人らしさ(尊厳)」とは何かを説明できるようにする。						
授業の方法	講義の他、グループワーク、ディスカッションなどの演習も取り入れ、意見交換の場を通して自己の考えを深める。						
学習成果	L01						
	L02	利用者の生活の多様性・複雑性を説明することができる。					
	L03	介護サービスの具体的な内容を把握し、総合的な対応能力と洞察力を活かした利用者支援ができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	グループワークなどの演習後は、教員が講評しフィードバックする。						
教科書／ 参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第4巻「介護の基本Ⅱ」 中央法規出版 その他、必要に応じて資料を配布する。						
履修上の留意点 やルール等	日頃から介護を必要とする人の生活、その人らしさなどに目を向けること。目的意識をもって授業に取り組み、グループワークでは積極的に意見交換して欲しい。飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験	実務経験(職種:障害者支援施設生活支援員(身体・知的) 職歴 6 年) 実務経験(職種:特別養護老人ホーム介護職員 職歴 10 年) 実務経験(職種:特別養護老人ホーム施設長 職歴 6 年)						

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	S 評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③グループワーク等の演習時は他学生の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている。		30				
レポート／作品	S 評価のワークシート(レポート)は、課題のテーマに沿って学びや気づきが具体的に記述されていること。自分の考えがまとめられていること。		10				
発表							
小テスト							
試験	介護を必要とする人の生活の理解、利用者の尊厳(その人らしさ)に関する内容を中心に出题する。			60			
その他							
合 計			40	60			

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスに沿って授業のねらいと進め方・成績評価の方法など) 1年生で学んだ内容(講義・演習・実習等)を書き出して振り返りってみる。
	事前・事後学習	1年生で学んだこと、実習で学んだことを整理しておく。
2	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解① 私たちの生活の理解 「生活」を時間や空間、家庭から考えてみる。
	事前・事後学習	テキスト p2～p10 を読み、自身の生活の時間、空間、家庭の在り方をまとめておく。
3	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解② 生活とは何か 生活にとっての大切な要素を考察する。【ワークシート作成】
	事前・事後学習	テキスト p10～p14 を読み、「生活のしづらさ」について考えをまとめておく。
4	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解③ 改めて「生活」とは何か？ 自身の生活観を考察してレポートする。【ワークシート作成】
	事前・事後学習	次の発表に備えて内容を確認しておくこと。
5	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解④ 「わたしの生活観」の発表
	事前・事後学習	発表内容についてよく確認をしておくこと。
6	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解⑤ 介護を必要とする人たちの暮らし 1 介護を必要とする高齢者の暮らしを学ぶ。
	事前・事後学習	テキスト p17～p25 を読み、その人の暮らし＝その人の歴史について確認しておく。
7	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解⑥ 介護を必要とする人たちの暮らし 2 介護を必要とする障害者の暮らしを学ぶ。
	事前・事後学習	テキスト p25～p35 を読み、障害がある人の暮らしについて触れておくこと。
8	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解⑦ その人らしさと生活のニーズの理解 1 その人らしさとは何かをその背景を含めて理解する。
	事前・事後学習	テキスト p37～p38 を読み、「その人らしさ」を再確認しておく。
9	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解⑧ その人らしさと生活のニーズの理解 2 生活ニーズの学びを通じて介護を必要とする人たちのニーズを理解する。
	事前・事後学習	テキスト p38～p39 を読み、その人らしさに基づく生活ニーズとは何かを確認しておく。
10	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解⑨ 自分らしさ(その人らしさ)を考察する 1 「じぶん年表」を作成して自分らしさ(その人らしさ)を明らかにする。
	事前・事後学習	「じぶん年表」の作成にあたり、自身の生活のこれまでを整理しておく。
11	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解⑩ 自分らしさ(その人らしさ)を考察する 2 「じぶん年表」を作成して自分らしさ(その人らしさ)を明らかにする(続き) 【「じぶん年表」を提出】
	事前・事後学習	この時間内に「じぶん年表」を完成させること。
12	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解⑪ 自分らしさ(その人らしさ)を考察する 3 作成した「じぶん年表」を発表する。＜映像で共有＞
	事前・事後学習	発表の準備をしておくこと。
13	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解⑫ 生活の「しづらさ」を考える 生活のしづらさと生活のしづらさに対する誤った支援とは何かを学ぶ。
	事前・事後学習	テキスト p42～p43 を読み、生活のしづらさに対する不適切ケアについて考えておく。
14	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解⑬ 視覚障害の体験 視覚障害による生活のしづらさの体験を通じて必要な支援を考察する。
	事前・事後学習	視覚障害者への支援をモデルにして、適切なケア、不適切ケアを整理しておく。
15	授業内容	介護福祉を必要とする人の理解⑭ 家族介護者への支援 家族介護者に対する介護に関する助言、シャドウワークについて学ぶ。
	事前・事後学習	テキスト p43～p46 を読み、介護する家族への支援のあり方を確認しておく。